

『きみの友だち』

重松清／著 新潮社刊



木の図書館
スタッフが選ぶ
一冊！

1人でいられるのに1人と思われるのが怖かった。友だちなのに息苦しかった。そんなあの頃の少年少女達の短編が繋がって1つの物語になっていきます。主人公は「いなくなっても一生忘れられない友だちが、一人、いればいい。-本文引用-」と言います。学生の君にも、生きづらい社会にいる大人にも是非読んでもらいたい、温かくて悲しくて真っすぐな1冊です。

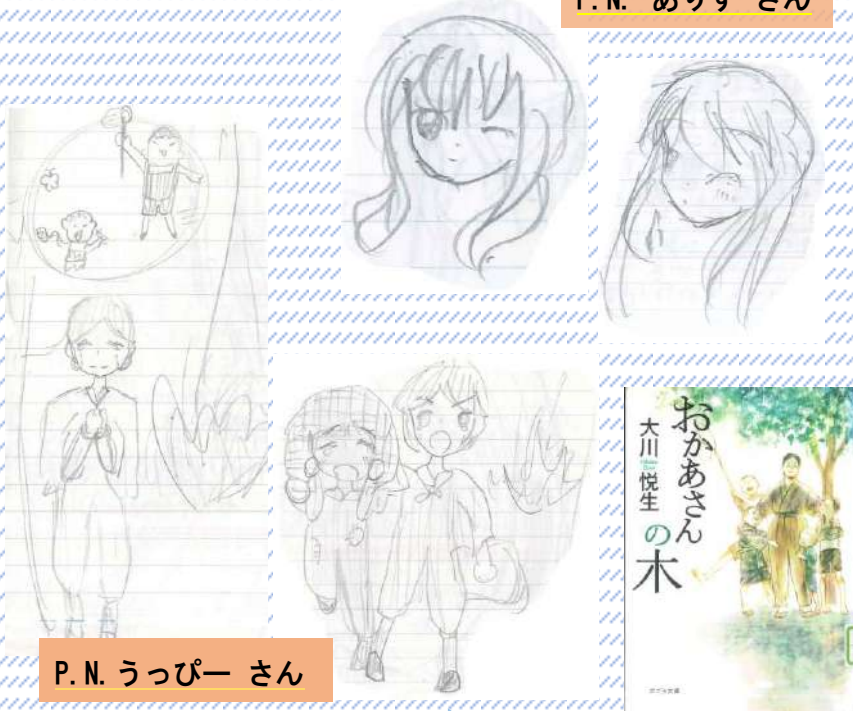


P.N.ムーミンママ

シ

ティーンズによるティーンズのためのティーンズノート

P.N. ありす さん



P.N. うっぴー さん

『おkaaさんの木』

大川悦生／作 ポプラ社

★オススメコメント★

この本は、日本が戦争をしていた時代のお話で、短編がたくさんあります。この「おkaaさんの木」は、映画にもなり、教科書にものっている名作です。戦争に行ってしまった息子たちのかわりに木を植えて、毎日毎日おkaaさんがその木たちに話しかけているけれど、息子たちはまだ帰ってきません。最後帰ってきたのは…?!ひとりぼっちになってしまったおkaaさんの悲しみが伝わってくるお話です！読んでみてください！！

P.N. うっぴー さん

ティーンズノートへの
書き込み募集中！！

913

材

編

集

後

記

「もくほん！2021 Spring」はいかがでしたか？外国の小説は取っ付きにくいと思っている人にも手軽に楽しめる海外文学特集になっていますので、これを機に色々な国の物語を読んでみるのはいかがでしょう。そして、これからもたくさんのティーンズノートへのおススメ本コメント&イラストの書き込みをお待ちしております！それでは、スタートを切った新年度がステキな一年になりますように！